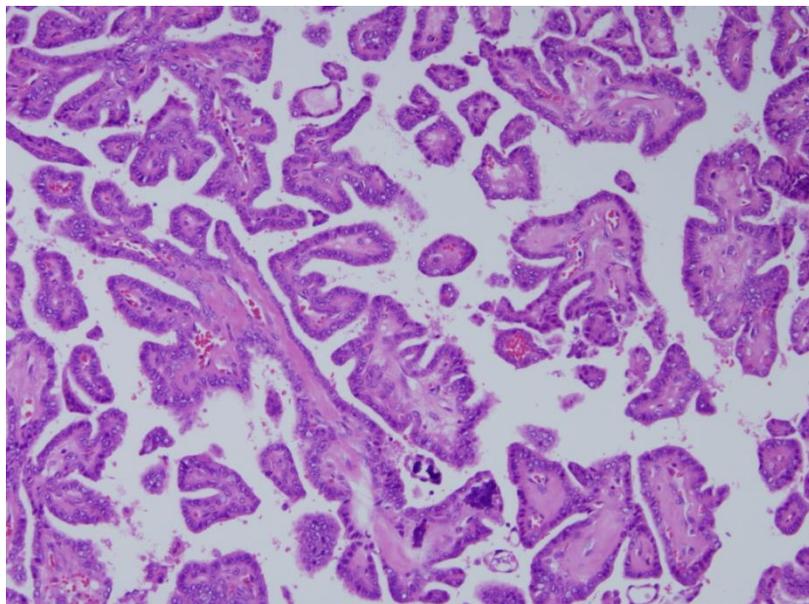
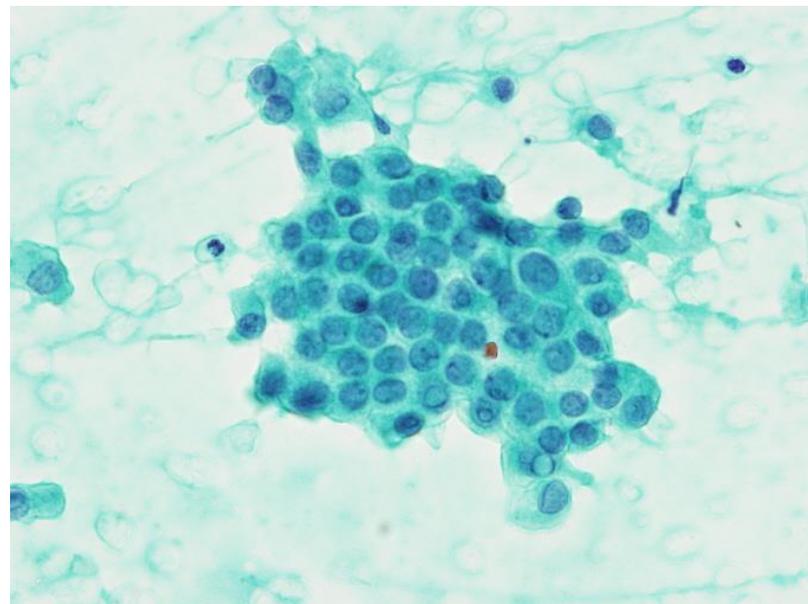


由利組合総合病院病理診断科



組織診(甲状腺乳頭癌)



細胞診(甲状腺乳頭癌)

病理って？

- ・患者さんから採取された材料を顕微鏡で観察して診断を下し、癌の発見や治療選択に関与しています。
- ・さまざまな科と関連し、チーム医療にはかかせない診療科です。



特徴

- 病理専門医は全国でも2483名(2018年9月10日現在)、病床数400超の705病院のうち245病院(34.5%)で常勤病理医が不在、また常勤病理医勤務病院でも45.8%は1人病理医(厚生労働省医療動態調査、日本病理学会年報などより)という病理専門医不足のなか常勤病理専門医かつ病理専門医研修指導医が2名常勤しています。**
- 指導体制もしっかりとしています。**

特徴

◎認定関係

日本病理学会研修認定施設B

日本臨床細胞学会教育研修施設

◎近隣病院の組織診や剖検、臨床病理
検討会も請け負っており、地域医療に
貢献しています。

日本病理学会
研修認定施設認定証

病院名 由利組合総合病院

貴病院を日本病理学会病理専門医
制度規程による日本病理学会研修
認定施設Bとして認定する。

認定番号 第 2018 号

認定期間 平成30年4月1日より

平成32年3月31日まで

平成30年4月1日

一般社団法人 日本病理学



理事長 深山正久

病理専門医制度
運営委員長 北川昌伸

特徴

◎精度管理関係

特定非営利活動法人日本病理精度保障機構が実施している外部精度評価に参加し、所定の基準を修めていると認定されています。



初期研修期間中の病理選択に関して

- ・自由選択期間内に病理を選択研修することが可能です。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	手術材料 切り出し		手術材料 切り出し		手術材料 切り出し
午後	診断	診断	診断	診断	診断

その他、術中迅速診断、病理解剖あり

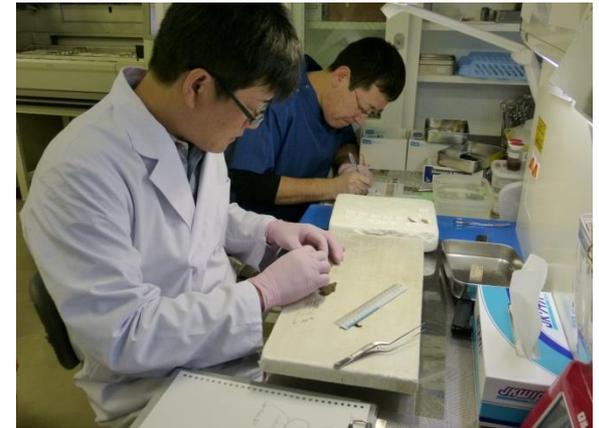
- ・臨床研修必修化後、12名の研修医が病理を選択研修
2名は病理専攻の大学院へ進学(協力型研修医を含む)

研修目標

研修期間や将来の進路希望に応じて研修目標を設定

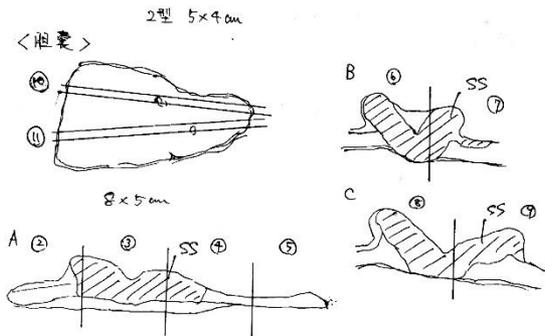
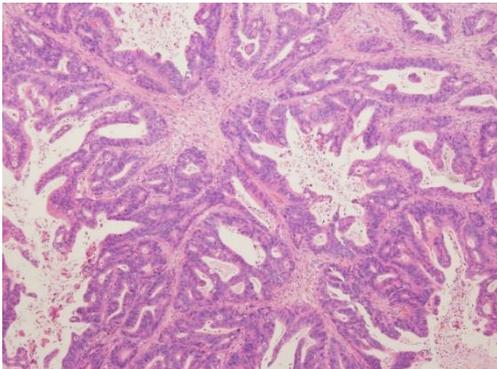
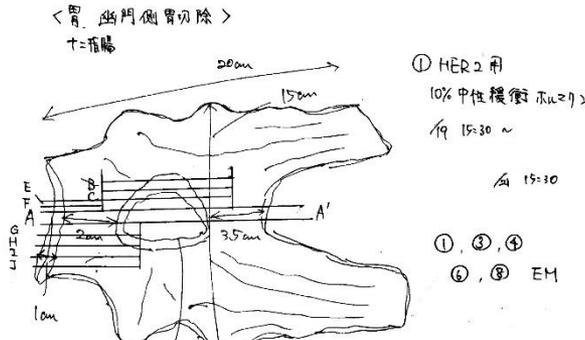
◎ 1ヶ月間病理研修した場合の研修目標例

- ・ 外科系志望 → 代表的な手術例の切り出し、
診断ができるようになる
- ・ 消化器内科系志望 → ESD症例の切り出し、
代表的な生検例や
ESD症例の診断を
できるようになる



研修医が研修期間中に経験した症例

60代男性の心窩部痛で見つかった胃癌



病理組織診断報告書

由利組合総合病院

ID番号	患者名
フリガナ	性別 男性
生年月日	外科 (問い合わせ)
採取日 2017	主治医
8階しよぶ	検査科 病理 内線 2705

<臨床診断> 胃癌

<臨床経過>

施行. 心窩部痛で発症した幽門部前壁の3型胃癌 (tub1). 幽門側胃切除・D2・胆嚢摘



病理組織診断

- Advanced gastric carcinoma (pT3, pStage II B)
- Positive for lymph node metastasis (pN1)
- Chronic cholecystitis with cholesterolosis

病理所見

提出された組織は抽出された幽門側胃および胆嚢です。肉眼的には切り出し図および写真を参照ください。2型腫瘍の幽門側に連続した0-IIa病変を認めます。組織学的には腫瘍部は中分化～高分化管状腺癌 (CO IIa) 病変部分には高分化管状腺癌を認めます。(tub2)tub1). 病変は膵臓下組織まで浸潤していますが、漿膜外までは及びません (pT3). 腫瘍の間質量は中間型、浸潤増殖様式はINPbと考えます。中等度のリンパ管浸襲と高度の静脈浸襲を認めます (ly2, v3). 胆嚢に関してPM, DM共に陰性ですが、DM(40-IIa)病変は1cmの部分まで広がっています。HER2: 高倍率で僅かに染色され1+と判定します。

リンパ管転移は陽性です (pN1:2/21): #3:1/9, #4:0/3, #5:0/1, #6:1/5, #7:9/11p:0/5, #8a:0/3

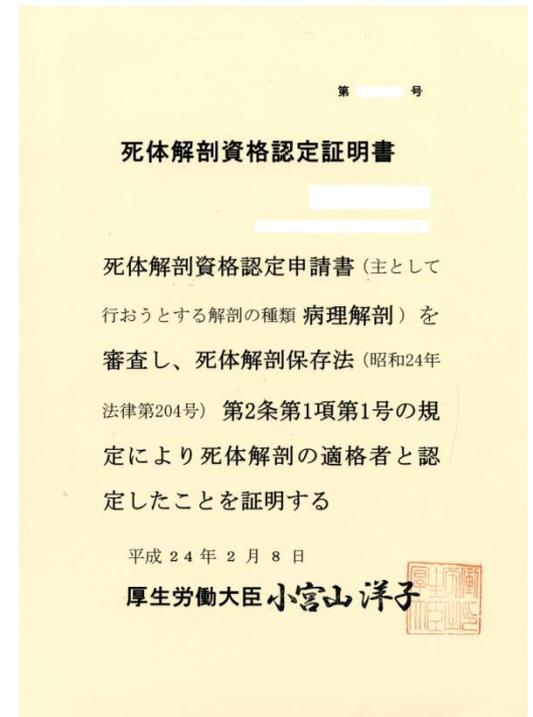
[L, Less, pType2+0-IIa, 60×40mm, tub2)tub1, pT3(SS), int, INFb, ly2, v3, pPMU (35mm), pDM0 (10mm), pN1, pStage II B]
UICC (pT3, pN1, pStage II B)

胆嚢にはcholesterolosisを伴った軽度慢性胆嚢炎と考えます。

資格、専門医

●病理に関連した資格や専門医

- ・死体解剖資格(国家資格)
- ・病理専門医(日本専門医機構
基本領域専門医)
- ・細胞診専門医(日本専門医機構
サブスペシャルティ領域専門医)



病理解剖

- 365日、24時間体制で病理解剖を行っています。**
- 近年、病理解剖数の減少傾向にあるなか、
様々な症例を経験することができます。**

臨床病理検討会(CPC)

おおよそ月1回ペースで
臨床、病理と合同で全例
検討会を行っています。



2018年臨床病理検討会

月	
1月	症例1: MDS急性白血病化 症例2: 前立腺癌、気管支肺炎
2月	悪性リンパ腫再発
4月	S状結腸癌、S状結腸穿孔・腹腔内大量出血
5月	胆嚢癌、周囲膿瘍を伴う胆嚢炎
6月	壊疽性虚血性腸炎、陳旧性心筋梗塞
7月	卵巣癌術後・化学療法後、膿瘍形成を伴う気管支肺炎
8月	前立腺癌、間質性肺炎・びまん性肺胞障害
9月	悪性リンパ腫、血球貪食症候群
10月	症例1: 誤嚥性肺炎 症例2: 急性骨髄性白血病再発、急性リンパ性白血病
11月	卵巣癌化学療法後、胃癌ESD後
12月	甲状腺悪性リンパ腫再発、憩室炎穿孔・びまん性腹膜炎

スタッフ

医師 常勤 2名 (40代2名)

日本病理学会病理専門医 2名

日本病理学会病理専門医研修指導医 2名

日本臨床細胞学会細胞診専門医 2名

日本臨床細胞学会教育研修指導医 1名

非常勤 2名(秋田大学より派遣)

臨床検査技師 5名 (40代1名、30代3名、20代1名)

細胞検査士 3名

実績

2016年	組織診	細胞診	剖検
院内	2690件 (うち迅速診146件)	8594件	15件
院外	932件	1185件	0件
計	3622件	9779件	15件

実績

2017年	組織診	細胞診	剖検
院内	2902件 (うち迅速診125件)	8420件	16件
院外	831件	1299件	0件
計	3733件	9719件	16件

実績

2018年	組織診	細胞診	剖検
院内	2589件 (うち迅速診144件)	7971件	12件
院外	882件	930件	2件
計	3471件	8901件	14件

最後に

将来、病理への進路を考えている研修医はもちろん、病理以外への進路を考えている研修医にも広く門戸を開いています。

初期臨床研修中に病理を研修することは、その後の臨床経験にも必ず役に立つと思います。

病理研修ができる病院に興味をひかれたらぜひ見学や実習にいらしてください。